



2020年4月28日

各位

会社名 大太平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 佐々木 朗
 (コード番号 5541 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 藤山 環
 (TEL 03-3201-6681)

営業損失(たな卸資産の簿価切り下げ額)の計上

及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)において、営業損失としてたな卸資産の簿価切り下げ額を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2020年1月31日に発表した2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●営業損失(たな卸資産の簿価切り下げ額)の内容

ニッケル事業において、当社適用LMEニッケル価格の大幅な下落等により、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められたため、当連結会計年度におきまして、たな卸資産の簿価切り下げ額として2,461百万円を売上原価に計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年1月31日発表)	百万円 45,025	百万円 1,410	百万円 4,313	百万円 4,084	円 銭 209.39
今回修正予想(B)	44,133	△1,879	972	625	32.06
増減額(B-A)	△891	△3,289	△3,340	△3,458	
増減率(%)	△2.0	—	△77.5	△84.7	
(参考)前期実績(2019年3月期)	49,062	176	3,451	3,693	189.37

2. 修正の理由

連結業績予想について、当社フェロニッケル製品の販売数量は、概ね前回業績予想公表値通りを見込んでおります。

一方、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、第4四半期に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響等もあって急激な下落基調となり、期を通した平均としては比較的高価格ではあるものの、方向感の定まらない推移となりました。その影響等もあり、期末において、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められたため、売上原価にたな卸資産の簿価切り下げ額を計上する見込みとなりました。

その結果、売上高及び各利益は、前回業績予想公表値より下回る見込みです。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年1月31日)	14,889	13,611	28,500	16,271	15,504	31,775	5.90	6.91	6.39	108.52	108.72	108.62
今回修正予想	14,889	13,644	28,533	16,271	14,614	30,885	5.90	6.71	6.29	108.52	108.45	108.49
(参考)前期実績 (2019年3月期)	15,975	16,025	32,000	16,803	16,703	33,506	6.32	5.47	5.89	109.81	111.24	110.53

以上